



とのまるくん
(殿ダムイメージキャラクター)

第50号
2010・4・1

「とのまる通信」

発行: 国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

とのまる通信 発行50号!

殿ダム建設事業の旬の話題をお伝えする広報誌『とのまる通信』が創刊し、今回で50号の発行を迎えます。

そこでこの度は、『とのまる通信』に掲載した話題にふれながら、殿ダム建設事業の歴史を振り返ります。



今後ともより多くの方々に読んでいただけるよう、努力してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願い致します!

創刊号から49号までの『とのまる通信』の前に座る木村克己事務所長



とのまる通信創刊から現在までを振り返る

とのまる通信創刊から現在までを振り返り、広報担当の調査・品質確保課後藤課長に話を伺いました。



調査・品質確保課 後藤誠志課長

とのまる通信発行前は、『因幡の国の夢づくり』という広報誌を発行していましたが、今から9年前に子供から大人までが、“まず手にとって、そして気軽に読める”広報誌づくりに取り組み始めました。

発行当初は、建設する殿ダム の場所やその周辺地域のことを皆様に知っていただけるよう、殿ダム周辺の地図や地域の情報を中心に紹介しました。平成16年には国府町は鳥取市と合併し、殿ダムは鳥取市の1つの財産となるため、そのことを認識していただけるような情報も紹介しました。また、平成17年は前年に気候変動が激し

かったため、鳥取市及び全国の気候変動の傾向や実際に洪水被害に遭った兵庫県豊岡市を取材し、特集を組みお伝えしました。平成19年にダム本体工事を発注し工事が本格化した以降は、今どこで、どのような工事を実施しているのかを、できるだけ分かりやすく伝えられるよう心がけて作成しています。

皆様に親しまれる、殿ダム建設事業広報誌『とのまる通信』づくりに励んでいきますので、今後もご愛読のほどよろしくお願い致します。

今までに発行した『とのまる通信』のご紹介

今までに発行した『とのまる通信』の中からいくつか選び出し、表紙を見ていただきながら、内容について振り返ってみたいと思います。



読者の方に殿ダム周辺地域に関心を持っていただくこと、地元情報を紹介しました。

袋川上流にある中国遊歩道の“森の中を歩くコース”は、雨滝、管滝、親子滝など美しい滝がある他、ブナやトチなどの巨木が点在する神秘的な場所で、袋川源流の碑もあるそう！この情報のもと、その周辺を取材し、紹介しました。



昭和30年代の護岸工事や洪水被害のお話を伺いました。13号発行時は表紙に掲載した写真の場所が不明でしたが、紙面で呼びかけたところ、4人の方から情報が寄せられ、その場所が殿ダム建設地上流の木原地内であることが判明。14号にて詳細を紹介しました。

特集記事以外で紹介した内容

- ❁ 周辺の自然環境や景観に配慮した工事及び工事の進捗などを紹介しています。
- ❁ 殿ダム現場見学や殿ダムに関連した委員会、式典など殿ダム工事事務所のトピックスを紹介しています。
- ❁ 移転者の方や殿ダムに係わりの深い方にインタビューし、当時の思いや現在の心境などを伺い紹介しています。
- ❁ 殿ダム周辺地域の集落独自の取り組みなどを紹介しています。



殿ダム完成イメージ



平成16年は、3月上旬に鳥取市内で約30cmもの雪が積もり、7月は前年より約5分の1しか雨が降らなかったり、秋には台風が水被害をもたらしたりと…身近に起こった気象情報を紹介しました。

このまる通信の内容は、殿ダム工事事務所のホームページでも見ることができます。



平成16年10月に到来した台風23号で、市街地の約90%が浸水するなど、甚大な被害を被った兵庫県豊岡市。鳥取市の隣の市で起こった洪水被害から水害について学ぼう!と、当時の様子や日頃の備えなどを伺い、紹介しました。

市町村合併に伴い、旧鳥取市民の方々に殿ダム建設地である国府町の魅力を共有していただく!と企画した号で、地元の方に国府町の良さを語っていただき、紹介しました。



“おもしろいイベントをしている地域があるんですね!”と好評をいただきました。

なぜ殿ダムを造るに至ったか、その経緯を今一度教えてほしいという読者の声にお応えしました。



読者から寄せられた感想

- ★ 内容が読みごたえあり、また興味深く、おもしろく編集されているのに感激しました。久しぶりに読み続けたい情報誌を手にした感じです。
- ★ 樹齢百年を超える山桜や、木造校舎をバックに幼稚園児が桜の木の下でお弁当を広げている光景が載っている28号を見て、『とのまる通信』を持って掲載してあった桜の名所をめぐったことがあるんですよ！
- ★ ダムに興味はなかったけれど、盛立工や洪水吐き工などの記事を読んで、へえ〜と驚くことがいっぱいあり、ダム建設工事への関心が持てるようになりました。



- ★ 印象深かったのは18号(荒舟の炭焼き)で、表紙の写真が目をはきました。そして文章を読んだら、こんな素敵な人がいるんだ!と思い、それから毎号地元情報を楽しみにしています。
- ★ 昔、木原で親父が護岸工事しとって、そこにわしもついていっとったが。その頃の写真が13号に載とって、すごく懐かしかったわいな! わしらあの公民館では、しっかり『とのまる通信』をファイルしとるで!
- ★ 移転者のわしらあにとってとのまる通信は、ふるさとは今どんなふうに変化しとるか、知ることができるし、たまに移転者のインタビューが載とると、懐かしゅうその人のことを思い出すわいな。



昭和37年に殿ダム建設事業の予備調査が始まりましたが、この調査より12年も早い時期に、邑法第一中学の生徒がなんと、殿ダム建設計画を立てていた! この情報提供者の井上俊さんにお話を伺い、紹介しました。

安定した工業用水の確保は鳥取市の発展に欠かせません。そこで、鳥取県東部の中で一番工業用水を多く使われている企業を訪問し、工業用水についてお話を伺い、紹介しました。

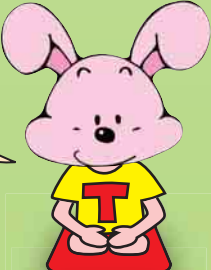


平成20年7月は、最近の5年間の平均雨量の約半分しか雨が降りませんでした。そこで、鳥取市や全国の雨量の傾向をグラフで表したり、渇水になったら、どんな影響があるのかなどを紹介しました。



現在行っている主要な工事の特集し、紹介しました。

今後ともご愛読のほど、よろしくお願い致します。



殿ダム周辺の今昔

— かんご じっこく 神護集落・拾石集落編 —

殿ダム建設に伴い移転していただいたのは、4集落(殿・拾石・神護・楠城)36世帯です。とのまる通信を創刊した平成13年の折りには、まだ各地区とも集落が存在していました。そこで、今と昔の風景を見比べながら、殿ダム建設事業の歴史を振り返ります。

神護集落 昔



茅葺きが点在していた神護集落 (撮影:平成12年)

神護集落の今昔

茅葺きの山村形式の屋敷が比較的多く残り、古くからの祭祀行事なども多く伝わる神護集落。殿ダム建設事業に伴い、22世帯中5世帯が移転されました。

現在は元気な村づくりを展開する拠点として、山村の生活体験ができる『神護ふるさと村』が建設され、地域の活力を育んでいます。

神護集落 今



神護ふるさと村にあるかやぶき交流館



現在の神護集落 (撮影:平成22年2月)

拾石集落 昔



四季折々に美しい山村集落の風景をかもした拾石集落 (撮影:平成12年)

拾石集落の今昔

岩美と鳥取を結ぶ主要な道路であった法美往来。当時の拾石集落の中にこの法美往来があり、登りきった所にはこの道最大の難所である『不動坂』がありました。殿ダム建設事業に伴い、19世帯中18世帯が移転されました。

現在、集落があった場所には記念碑が建てられ、かつての集落の場所を後世に伝えています。

拾石集落 今



拾石地内に建てられた記念碑



現在の拾石地内 (撮影:平成22年3月)

殿ダム水源地域ビジョン策定に向けて、 ワークショップで具体的な検討を始めました

平成21年12月22日(火)に第1回、平成22年1月26日(火)に第2回の「殿ダムワークショップ」を鳥取市国府町中央公民館にて開催しました。

このワークショップは、「殿ダム水源地域ビジョン策定委員会」により設置したもので、市民の利活用や水源地域のニーズに沿った「殿ダム水源地域ビジョン」を策定するため、水源地域の活性化に資する具体的な活用施策などを検討していただくことを目的としています。

ワークショップの意見をふまえ、今後は具体的な行動計画(ビジョン)を立案するため、委員会を開催する予定です。



第1回殿ダムワークショップの様子

参加者同士で共通の認識を持ちながら意見交換が行えるように進めています。



「ワークショップ」と「委員会」の役割

ワークショップ

地域住民の視点に立った行動計画とするため、地域住民などの幅広い参加者によるワークショップを開催し、**課題や対応策など活用施策の検討**を行う。

委員会

ワークショップの検討内容を基に、多くの市民が憩いの場として活用する観点から、**殿ダム水源地域ビジョンの基本方針など行動計画を立案**する。

第1回 殿ダムワークショップ

第1回のワークショップでは、参加者の方々に共通の認識を持っていただけるよう、殿ダム湖周辺の現状、「殿ダム湖周辺地域ふるさと再生21プラン」などを説明、平成21年10月、11月に実施した殿ダム活用に関するアンケートの結果を紹介し、殿ダムについて認識を深めていただきました。

【第2回のワークショップの進め方】



①グループごとに意見交換を行う



②とりまとめた内容について発表を行う



③全体で意見交換を行う

第2回 殿ダムワークショップ

ふるさと再生21プランを基に、水源地域の課題を整理し、「殿ダム水源地域ビジョン」の目標、基本方針、行動計画(ビジョン)の柱の素案を紹介しました。グループごとの意見交換では、行動計画(ビジョン)の柱に沿ったテーマについて、参加者の方から様々な観点の意見をいただきました。

お問い合わせ & 便りのあて先

国土交通省 中国地方整備局 **殿ダム工事事務所** とのまる通信編集部

〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1221
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

